

七夕絵どうろうまつり

とき
時空の旅人 湯沢物語

プロジェクト マッピング

◆ 開催日 令和4年 8/5 [金] 8/6 [土] 8/7 [日]

◆ 投影時間 1回目/19:00～ 2回目/19:30～
3回目/20:00～ 4回目/20:30～

◆ 会場 雄勝郡会議事堂記念館
【県指定有形文化財 旧雄勝郡会議事堂】
【住所】秋田県湯沢市北荒町2-20



湯沢市文化遺産活性化実行委員会

旧雄勝郡会議事堂
130年記念

▼館内でのイベント紹介 8月5日(金)～7日(日)▼

秋田の美しい人 推し活！プロジェクト

開催時間 15:00～20:00

生き方が美しい！応援したい！秋田で生きる身近な人を紹介

県指定文化財
「旧雄勝郡会議事堂」

築130年
の歴史



～各展示施設から逸品を出張展示～



院内銀山
関係資料



縄文時代の
遺跡出土品

ジオスタ☆ゆざわ



稲庭城



かけぼとけ
懸仏(レプリカ)

市内展示施設出張展示 「ゆざわの文化財展」

開催時間 8:30～20:30

プロジェクト マッピング

主な登場文化財の紹介

県指定

ぎゅうお がちぐん かいぎ じどう
旧雄勝郡会議事堂



この建物は雄勝郡役所の議事堂として新築され明治 25(1892)年 11 月 1 日に落成式が行われています。大正 12(1923) 年の郡制廃止により湯沢町に払い下げられ、その後町役場や図書館等役目を変えて使用されました。昭和 59(1984) 年に全面改修工事を行い、翌年「雄勝郡会議事堂記念館」として開館しました。

県内に残る代表的な明治時代の洋風官衙(かんが)建築としてや地方行政制度の変遷を知る上での貴重な遺構として昭和 50(1975)年「旧雄勝郡会議事堂」の名称で県指定文化財に指定されています。

[木造二階建 寄棟造 鉄板葺 延床面積 498 m²]



県指定

じょしんぞう
女神像



本像は、山田地区松岡の白山(はくさん)(標高 288.7m)山上にある白山神社に祀(まつ)られています。体軀(たいく)は量感や抑揚を控え、全体に細見に表されていることや頬・腹部などにみえる鈍彫(なたぼり)技法等から平安時代(12世紀)の仏像と考えられます。

用材(ケヤキ)の材質が堅いため当初の膚(はだ)が残っています。足元には木株を残していることから立木仏であり、目は伏し目がちで温和な表情を浮かべています。

[像高 164.4cm ケヤキ材 一木造]



県指定

とうふく じむら かみ
東福寺村上出土土偶



この土偶は、昭和 55(1980)年に駒形町字東福寺村上地内で畑地耕作中に発見された縄文時代中期の土偶でほぼ完全な形をしています。

顔は粘土を貼り付けたまゆ、鼻、口と、刺突による目で表現されています。腹は粘土を貼り付けた臍(へそ)で、足の指は3本の刻みで表されています。口から足の間にかけて貫通孔があります。口の下から臍にかけては2条の沈線(ちんせん)があります。

[高さ 19.6cm 幅 8.0cm 厚さ 2.4cm]



市指定

かしま
鹿嶋まつり



鹿嶋まつりは、市北部の岩崎地区(末広町・栄町・緑町)で今も行われています。

「鹿嶋様」と呼ばれる高さ4m前後の藁(わら)人形をそれぞれの町内で作って村境に祀(まつ)り、疫病退散や家内安全、五穀豊穡を祈願してきました。毎年春、全町民で人形の材料となる稲藁などを持ち寄り衣替えとお祭りをしてきました。

鹿嶋信仰の一端をうかがわせる祭りの形態や人形製作の技術・工程等は古来より地域住民の間で継承されています。平成 23(2011)年には県記録選択無形民俗文化財にも選択されています。



市指定

湯沢凧(まなぐ凧)



湯沢凧には「まなぐ凧」と「武者絵凧」があります。

まなぐ凧(「まなぐ」は目の意)は大きな目が特徴で、佐竹家の家来阿王平馬(あおうへいま)が考えたと伝えられています。

武者絵凧は幕末に京都警固(けいご)のため上洛(じょうらく)した湯沢の武士たちが、錦絵を写しとってきて作ったのが始まりとされています。湯沢凧の特色は、骨組みとつり糸が簡単であり、尻尾をつけずに安定し、凧の操作を自由自在に行えるところにあります。

毎年3月には、湯沢市凧あげ大会が開催されています。



県指定

旧院内銀山跡



院内銀山は慶長(けいちょう)11(1606)年、村山宗兵衛(むらやまそうべえ)らによって発見されたといわれ、石見・生野とともに日本三大銀山と称されました。全国から多くの人が集まり銀山町がつくられました。盛衰をくり返しながら藩財政を支えました。

明治 18(1885)年に古河鉱業の経営となり国内最高の産出量を続けましたが、鉱脈の枯渇と鉱況の低下により昭和 29(1954)年に閉山となりました。

県指定史跡に早房坑(はやぶさこう)、御幸坑(みゆきこう)、金山神社(かなやまじんじゃ)が指定されています。



県指定

一里塚



この一里塚は、羽州(うしゅう)街道に築かれたもので、塚上には樹高 21.7m、樹齢約 400 年のケヤキ(榎木)がそびえ、塚の全面に大きな根を張り底部は周囲 33mあります。

江戸幕府が慶長(けいちょう)9(1604)年、全国の街道に江戸日本橋を基点とする一里塚の設置を命じたことによって築られました。

現在は街道の西側のみ残っていますが、『湯沢絵図』(市指定有形文化財)から当時は街道の両側に一対をなしていたことがわかります。



県指定

川原毛の酸性変質帯



川原毛の酸性変質帯は、栗駒国定公園内、地熱地域の中心部、泥湯温泉付近に位置しています。

この一帯は、強酸性熱水と噴気作用により変質し、石英が主成分の白色珪化帯となっています。至る所から火山ガスが噴出し白い山肌と奇岩に覆われ植生の見られない荒涼とした景観が特徴的です。

この地は、その異様さから川原毛地獄の名で知られるなど、古くから人々の生活や信仰との関わりや活発な熱水活動の続く代表的なところです。

